保護者や地域と共に創ろう！　やる気　やさしさ　あふれる　笑顔の花結う相知小　ONE　TEAM！
～おちついて　うでくんで　ちえを出し合う　相知っ子～「にこ・きび・あい・はき・どん」

この指とまれ！

唐津市立相知小学校
学校だより　No. 9
令和7年9月26日発行
文責：校長　佐伯美和

右上のQRコードを読み取っていただくと相知小学校ホームページからもご覧いただけます。

言葉の集会

今週から運動会に向けての練習や準備が本格化しています。子どもたちは張り切って取り組んでいます。

さて、その前に考えてほしいことがありました。「言葉の遣い方」についてです。今、意識して正しい言葉を遣う習慣を身に付ける強化期間として取り組んでいます。

普段の様子を観ていると、時々、心が苦しくなる言葉を発しています。そういう言葉を発している本人は、その言葉の意味を深く考えることなく軽く遣っているようですが、周りで聞くとえっ！？と思うような言葉…例えば、存在を否定するような言葉、人権を侵すような言葉、相手を傷つけるような言葉です。地域の方から、登下校中の子どもたちの会話で遣われている言葉にショックを受けて…とお話いただいたこともあります。

大きな行事があり、みんなで協力しながら主体的に活動を進めていく機会が多い2学期。その前に立ち止まって、しっかり考え、正しく温かい言葉を遣う意識をもつ習慣を身に付けてほしい、そう強く思いました。

そこで、9月10日（参観日）の午後、緊急全校集会を開いたのです。

私たち教職員で、人権を大切にする言葉のかけ方について考えるための話を劇にして、人権を守る「安心」「自信」「自由」の3つの柱を崩さないための言葉について考えました。その後教室に戻り、全校一斉に「言葉」をテーマにした全校一斉道徳をして、学年に応じた指導をしました。そして、みんなで言葉の遣い方の指導をしたり、子どもたち同士もお互いに声を掛け合ったりしようと取り組んでいます。

他にも、場面の一部だけを見て、意に反して人を傷つけてしまうこともあります。あるいは、人の話を鵜呑みにして、事の全容や事実を知らないまま、思い込みで発した言葉で人を傷つけてしまうこともあります。全校のリーダーである5年生や最高学年の6年生にはこういうことも含めて話をしました。

人の気持ちを考えた言葉、場に応じた言葉を正しく遣える習慣をつけたいと思っています。

ご家庭でも、話題にしていただき、正しく温かい言葉の遣い方についてお話いただけたらと思います。

【9月10日：授業参観・親子ふれあい活動】

まだまだ厳しい暑さが続いている中、夏休み明けの子どもたちの学校での様子を観ていただきました。いかがでしたか？ご覧いただいたように、よく頑張っています！

3年生は、相知くんちの役員の方々に来ていただき、VTRを使って相知くんちのことを知ったり、親子で山笠に付ける飾りの一部を作ったりして活動しました。相知くんちがますます楽しみになったことでしょう。

4年生は、佐賀ものづくりマイスターの方々に来ていただき、焼き物の絵付け体験をしました。それぞれが考えていたデザインを丁寧にお皿に描いていましたね！

1年生は、ICT支援員の先生も一緒に入っていただいてのタブレットを使った授業、2年生は言葉集め、5年生と6年生は心落ち着けた書写と楽しい理科の授業。授業を受けている子どもたちも、いろんな先生と一緒に生き生きと学んでいます。

【親子ふれあい活動の様子】

【振り返りを紹介します】

- ○　仲間外しや人の嫌なことにつながることをしたり言ったりしないように気を付けます。
- ○　いい言葉をまねして、人との接し方を考えていきたい。
- ○　みんなを巻き込んで、みんなが楽しめる学校にしたい。
- ○　聞いて聞こえないふり、見て見ぬふりをしないで、絶対に止める！
- ○　相手の立場に立って考えて、みんなで助け合おうと思った。
- ○　何かあったら、ちゃんと確かめて話をするようにしたい。
- ○　今まで、だめな言葉をつかっていました。きょうのげきをみて、ふだんからやさしい言葉をつかっていこうと思いました。
- ○　もう、人をきずつける言葉はつかいたくないとおもいました。
- ○　きのう、友達をきずつけて、「安心」をうばってしまいました。ちゃんとあやまります。